

ヒューマンチェーン終了後に、全体で協力しながら、輪をひも解いたときの達成感や喜びを出しあいます。そして、多民族・多文化共生社会の実現や、在日外国人問題の問題解決には、私たちが他人事として傍観することなく、私たちができることは何かなどを具体的に考え話しあいます。



ファシリテーターの問いかけ

「ヒューマンチェーンをやってみてうまくできましたか。うまくできたならば、それはなぜですか。失敗したならば、その原因は何でしょうか」
 「1回目と2回目の違いは何でしょうか。あるいはその心境の変化はありましたか」
 「在日外国人との共生に問われていること、必要なことは何でしょうか、お考えをお聞かせください」

※先の参政権問題では、在日外国人が置かれている社会状況の理解をはじめ、厳しい現実を学びながらも具体的な多民族・多文化共生実現のあり方について学習してきました。

ヒューマンチェーンは本来、コミュニケーションスキルや仲間づくりを深めるためのアクティビティですが、「鉄の扉の参政権～あたりまえの権利?誰のための権利?～」から「ヒューマンチェーン(人間の鎖)」に移行するねらいは、この学習を頭の理解だけでなく、共生を実現するために求められる私たちの働きや可能性を実感できる経験が必要だということから設定しています。この趣旨を理解の上でアクティビティを進めてください。

●ふりかえり(10分)

在日外国人問題の解決は当事者の生き方に限らず、社会の構成員である私たち一人ひとりの主体的な判断や行動が大切であり、多民族・多文化共生社会は全ての人たちの多様性を保障する上で欠かせない課題であることを伝えます。また、多様性の尊重に基づくこれからの社会のあり方について、参加者とともにその方向性を出しあいます。

名刺カード

名刺カードは、コピーして1枚ずつ切り離してから配ってください。

公立小学校 教諭	弁護士	大企業 人事部課長	有名中高 一貫校校長	衆議院議員
市会議員	web デザイナー	国立大学 教授	警察官	税理士
フレンチ・ シェフ	美容師	(在宅) 株トレーダー	TV局 アナウンサー	カウンセラー
コンビニ 店長	派遣社員	留学生	清掃会社 作業員	スーパー パート
フリーター	専門学校生	名刺 ありません	タクシー 運転手	知的障がい者 作業所職員
高齢者施設 職員 (介護福祉士)	キムチ屋 経営者	建築現場 労働者	翻訳・ 通訳業	NPO スタッフ